

# 2014年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書



記 入 日 2014年 11月 28日

<b>実践団体名</b>		雄勝花物語実行委員会		
<b>連絡先</b>		担当：徳水 博志 090-3365-4114		
<b>プランタイトル</b>		震災語り部活動と津波のメカニズムを学ぶ防災教育		
		<b>番号*</b>	<b>詳細</b>	
<b>1 プランの対象者</b>		5.6.8 11	被災地研修で雄勝を訪れた中学生、高校生、大学生、社会人	
<b>2 対象災害種別</b>		3	津波	
<b>3 プランの目的</b>		5 6	災害を疑似体験、防災に関する知識を深める	
<b>4 協力・連携先</b>		1 8	学校・教育関係職業、職能団体	
<b>5 プログラムの種類</b>		2 17	学習会、その他(現地で避難コースを迫体験)	
<b>参考 先進 事例</b>	<b>活動年度</b>	2010年	<b>団体名</b>	西の地防災きずな会
	<b>参考内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みなみ版防災動画教材制作プロジェクト</li> <li>・津波の科学的な知識理解</li> </ul>		

※ 赤枠は別紙「記入上の留意点」の各項目から選択し、記入してください。

<b>地域特性に応じた アレンジ・工夫点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リアス海岸を襲う津波の特徴を科学的に理解し、その知識を生かして雄勝小学校の避難の仕方を検証し、学ぶべき教訓を明らかとした。</li> </ul>
<b>実施スケジュール 内容・成果*</b>	6月 福山市医師会 語り部・防災教育 7月 NPO法人防災支援ネット(大垣市) 語り部・防災教育 7月 横浜国立大学(教員・学生) 語り部・防災教育・復興教育 8月 蔵王町立平沢小学校(保護者・子ども) 語り部 8月 京都洛東高校(教員・学生) 語り部・防災教育 8月 東北学院大学(学生) 語り部 8月 早稲田中高教職員防災教育 語り部・防災教育 9月 長崎大学(学生) 語り部・防災教育・復興教育 9月 大東文化大学(学生) 防災教育・復興教育 9月 浜松学院大学(学生・教員) 語り部・防災教育・復興教育 9月 龍谷大学(学生・教員) 防災教育・復興教育 10月 福岡宮城県人会・福山市医師会 語り部・防災教育 11月 大東文化大学OB教員 防災教育 11月 福山市社会福祉協議会 語り部・防災教育
<b>全体の反省・感想・課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師の掘込智之先生による津波の科学的な講義と本団体の担当者による語り部ガイドで雄勝小学校の避難コースを検証する学びは、リアス海岸を襲う津波の特徴を解明できて好評だった。他にも大川小学校を襲った津波の特徴を解明する学びのプログラムを提供した。</li> </ul>
<b>今後の継続予定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波の学習は講義中心からワークショップ形式へ改善する。</li> <li>・現地での語り部のみならず、出前授業も行う。</li> </ul>

# 2014 年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体) 最終報告書



※ 写真の添付など、枠内に収まらないときは裏面自由記述欄を使用してください。

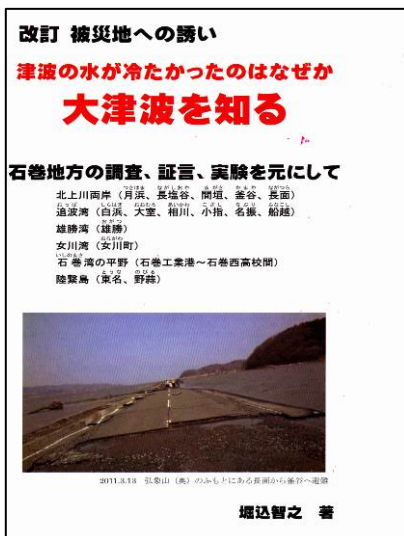
**自由記述欄** (必要に応じ、具体的な活動記録を自由様式で補足添付することが可能です。頁数自由)



雄勝小学校の避難の仕方を検証する語り部(大津波警報 10mの津波がリアス海岸の雄勝町では 19mになって校舎を丸呑みにした。学校は避難場所を間違っていたが、保護者の働きかけで子どもたちを裏山に避難させた結果、子ども達と教員の命が助かったのである)



工学博士の掘込智之先生の津波実験装置を使った防災教育の講義



石巻地方の津波を解明した小冊子

- ・津波は地形によって変化します。地形によって変化する津波の特徴を理解し、自分が住んでいる地域を襲う津波のイメージを把握して防災対策を立てることが大切です。
- 1 平野を襲う津波の特徴
- 2 リアス海岸を襲う津波の特徴
- 3 川をさかのぼる津波の特徴
- 4 平野部でも狭まった地形を襲う津波の特徴
- ・海岸では6mの津波が、海から4km奥にある大川小学校で水深10mに高まった理由を解明しました。
- ・参考文献 掘込智之著「大津波を知る」

## 2014年度防災教育チャレンジプラン(入門枠実践団体)

## 最終報告書 記入上の留意点



最終報告書の作成にあたり、赤枠の項目について、以下を参照し該当番号を記入し、具体名称等を詳細欄に記入をお願いします。

「その他」を選択した場合は、詳細欄に具体的内容を記入してください。

## 1. プランの対象者について (複数選択可)

	項目		項目		項目
1	幼児・保育園児・幼稚園児	8	教職員・保育士等	15	高齢者
2	小学生(低学年)	9	保護者・PTA	16	海外
3	小学生(高学年)	10	地域住民	17	防災関係者
4	中学生	11	社会人・一般	18	全ての人々
5	高校生	12	女性	19	その他 ( )
6	大学生	13	障がい者		
7	外国人留学生	14	養護学校児童生徒		

## 2. 対象災害種別について

	項目		項目
1	地震	5	不審者・犯罪被害
2	津波	6	火災
3	水害	7	災害全般
4	火山噴火	8	その他 ( )

## 3. プランの目的について

	項目		項目
1	遊び・楽しみながらの防災	6	防災に関する知識を深める
2	防災に役立つ資料・材料づくり	7	技術を身につける
3	災害に強い地域をつくる	8	防災意識を高める
4	災害を想定した訓練	9	災害対応能力の育成
5	災害を疑似体験	10	その他 ( )

## 4. 協力連携先

	項目		項目
1	学校・教育関係	6	企業・産業関連の組合等
2	同窓会組織	7	ボランティア団体・NPO法人・NGO等
3	保護者・PTAの組織	8	職業、職能団体
4	地域組織	9	学術組織、学会等
5	国・地方公共団体等	10	その他 ( )

## 5. プログラムの種類について (複数選択可)

	項目		項目		項目
1	イベント・行事	7	学校内クラブ活動	13	体験学習
2	講習会・学習会・ワークショップ	8	その他学校内での時間	14	読書・絵本・読み聞かせ
3	講演会・シンポジウム	9	校外学習・移動教室	15	演劇
4	総合的な学習の時間	10	家庭学習	16	避難・防災訓練
5	教科学習	11	出前授業	17	その他 ( )
6	学級活動	12	研究		